

## 鳥取大学ビジョン2030 概要版 (令和3(2021)年7月27日制定)

我が国は急速な人口減少、高齢社会を迎えています。また東京圏への一極集中もとまらない状況にあります。これは自然災害の多い我が国にとって安全上の面からも、また健全な国土を守っていく上からも決して好ましいこととは言えません。そのような中、地方\*にある大学としては、その地域の特性を活かし、地域をもり立て、地域創生の核となることがますます強く求められるようになってきています。

同時に、感染症や地球環境問題、経済格差など世界全体で解決を目指すべき待ったなしの課題も突きつけられており、グローバルな視野で世界に貢献する活動が必要とされています。

国連の持続可能な開発計画、気候変動枠組条約におけるパリ協定の採択など、2030年までの期間は、我が国及び世界の将来にとって大変重要な時期になっています。鳥取大学憲章にうたっている「多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心をもち、社会に対する責任を果たす」という行動規範、及び「実学を中心に地域とともに歩んで世界へ展開してきた伝統を重んじ、これからも知識を深め理論を身につけ、実践を通して地域から国際社会まで広く社会に貢献することで、知識をさらに智慧に昇華する営みを志向」する「知と実践の融合」の理念はますます重要になってきています。

〈地域に根ざし国際的に飛躍する地(知)の拠点大学〉

本学は第3期中期目標期間において、「地域に根ざし国際的に飛躍する大学」を目指し3つの戦略をたてるとともに、全ての学部、研究科の改組を実施し、教育、研究の機能強化を進めてきました。3つの戦略においては、乾燥地域の持続的発展、医療技術開発、地域創生を目標に、学内の広い分野の研究者の参加による研究、また改組においては旧来の専門分野の枠を越える教育体制の整備を進めました。

これまでの取組の成果を受け継ぎ、本学の憲章の理念を踏まえ、我が国と世界が持続的に発展してゆくための重要な10年に向けて、さらなる分野を超えた全学の連携、地元及び国内外の地域との共創により、不透明な時代の課題の解決に向けたイノベーションの創出を目指す人材養成と研究開発を進めてゆきます。鳥取県に設置されている責務を理解し、特色を活かして、「地域に根ざし国際的に飛躍する地(知)の拠点大学」として、勉学を目指す人たちから選ばれ、世界から評価される研究を展開し、社会から信頼され地域に必要とされる大学を目指します。

\*内閣府「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、東京圏以外を地方としている。

【目指す鳥取大学像 I】 充実したQOCL(クオリティ・オブ・カレッジライフ)で学びたい人に選ばれる大学

2030年に向かってグローバル経済・社会は複雑化するとともに、AIの進歩により人間の果たす役割が大きく変化する一方、環境も激変する予測不可能な時代が到来すると予想されます。このような世界の情勢の中で、本学の憲章の目標である、「社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成」を目指し、専門性と幅広い教養を身につけ、変化する時代を支え改善する資質を持った人材を育てる教育を進めます。そのために「Quality of College Lifeの充実」を可能とする取組を進め、一人一人が成長を実感しつつ達成感と満足感を持って卒業・修了することができ、学んでよかったと思われる大学、学修者から選ばれる大学を目指します。

### 学びの需要に応える教育

#### 新しい社会のニーズに応える専門教育

- ▷ SDGs, Society5.0が目指す社会の教育
- ▷ 時代のニーズに応える教育

#### 新しい社会に求められる人間力を身につける教育

- ▷ ますますタフな鳥取大学グローバル人材の養成
- ▷ 実践力のある人材の養成
- ▷ 充実したリベラルアーツ教育による創造性豊かな人材の養成
- ▷ グローバル社会、デジタル社会で活躍できるリテラシー

### 快適に学べる教育環境

#### 学修効果が上がり成長が実感できる環境

- ▷ 学修者本位の自ら学ぶ教育の効果の最大化
- ▷ 質の高い教育の保証

#### 誰もが効率的に学べる環境

- ▷ 教育のデジタルトランスフォーメーションの推進
- ▷ 多様な学修者に対応した学修環境

#### 日々の活動の中で成長できるキャンパスライフ

- ▷ 多様な人材が交流するキャンパス
- ▷ 学生支援体制

#### ステークホルダーとともにつくる学び

- ▷ 在学生・卒業生の参画
- ▷ 高等学校との連携
- ▷ 地域社会・産業界との連携

【目指す鳥取大学像Ⅱ】 「地域と世界に信頼される研究力」,  
「地の知を世界へ、世界的知を地域へ」 ナンバーワンの研究,  
オンリーワンの研究で国内外をリードする研究推進大学

本学の持つ強み、特色を活かして、複雑化、深刻化する地域及び世界の課題、カーボンニュートラルを目指す社会の課題に挑戦し、成果を世界に発信するとともに本学の立地する鳥取県及びその周辺の地元地域に還元します。「地域と世界に信頼される研究力」、「地の知を世界へ、世界的知を地域へ」を合い言葉に、本学の憲章の目標である「地球規模及び社会的課題の解決に向けた先端的研究」により研究推進大学を目指します。

#### 世界トップレベルの研究、特色のある研究

地域の拠点大学として、地域にある特色を十分に活用するとともに、地域課題の解決から世界に展開する本学の研究の遺伝子を受け継ぎ、それぞれの分野で国内外をリードする研究推進大学として発展することを目指します。

#### 社会に貢献する研究

本学は国内外における限界的な地域における、産業、教育・福祉、保健・医療、これらを支える社会基盤や防災などに係わるさまざまなテーマに取り組んできています。SDGsが目指す「誰一人取り残さない」世界の実現のために、これらの地域と連携した研究を推進し、当該地域に寄与するだけでなく、その成果を他地域へも普及させる活動を進めてゆきます。

#### 価値ある研究成果を創出する研究マネジメント

##### 研究の創出と推進、社会への貢献

- ▷ 戦略的な研究開発のマネジメント
- ▷ 研究による地域共創
- ▷ 中長期的な研究育成

##### 研究環境の整備

- ▷ 研究資金戦略
- ▷ 研究推進体制

【目指す鳥取大学像Ⅲ】 COC（センターオブコミュニティ）  
社会に信頼され地域に必要とされる地（知）の拠点大学

本学では2013年からのCOC事業、2015年からのCOC+事業の実施等を通して、人材養成や地域課題を解決する取組などにより地元地域に貢献してきました。これを引き継ぎ、本学の憲章の目標である「国際・地域社会への貢献及び地域との融合」のもと、様々なステークホルダーと協働・連携して、地域の創生・イノベーションに貢献する研究や教育を推進するとともに、養成した人材の地域における定着・活躍を促進し、知的・人的リソースを地域の活性化へとつなげてゆきます。また、透明性を確保し、社会に開かれた自律的な大学の経営を進めてゆきます。このような活動を通して、社会に信頼され地域に必要とされる大学を目指します。

#### 地域の健全な持続・発展に貢献する活動

##### 地域における創生・イノベーションの担い手となる人材の養成

- ▷ 地元で活躍する人材の輩出
- ▷ リカレント教育による地域人材の養成

##### 地域の多様な要請に応える

- ▷ 地域の創生・イノベーションに貢献する研究の推進
- ▷ 地域の様々なステークホルダーとの共創

#### 地域とつながる先進的医療拠点

##### 高度な医療体制の実現

- ▷ 先進的医療の推進
- ▷ デジタル技術を活用した医療連携の推進

##### 医療で地域を支える

- ▷ 地域医療人材の養成
- ▷ 地域医療機関との連携
- ▷ 医療産業の育成
- ▷ 地域への情報発信とブランディング

#### 自律性と透明性の高い経営

##### 効率的な大学運営の実現

- ▷ 存在感のある大学を実現する経営
- ▷ 誰もが能力を発揮して働きやすい職場
- ▷ 効率的な財務運営

##### 開かれた大学運営の実現

- ▷ 信頼される経営
- ▷ 内部質保証